

5 実施計画【評価】(地域計画)

(1) 中部地域 ～ 豊かな農地の創造と農業施設の保全を求め ～

「水」の保全整備

- 農業水利施設について、ストックマネジメント手法による保全対策（補修、補強等）により、維持管理経費等の低減を図り、農業経営の安定化に寄与する。
- 畑地かんがい施設を整備することで、高収益性作物の導入を可能とし、畑作営農の多様化を支援する。
- 土地改良区の維持管理費の低減のため、農業用水を活用した小水力発電施設の整備を推進していくとともに、土地改良区の体制強化に向けて支援する。
- 障害防止対策事業（用水補償対策）で造成された貯水池、基幹水利施設の維持保全体制の構築を行うことで安定した農業生産を支援する。

【当該年度評価の総括】

1 基幹農業水利施設の保全対策の推進

- 管内の土地改良区に対して施設監視要領の周知と施設監視の支援を行った。
また、4地区で計画していた保全対策工事を実施することができた。

2 土地改良区の体制強化

- 中群馬及び広瀬桃木両用水で、既に策定済みの土地改良区体制強化基本計画について、更新指導を行った。

◆ 農業用水の安定供給

・基幹農業水利施設の保全対策

	計 画	実 績	評価
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 機能保全計画に基づく、基幹農業水利施設の保全対策 ----- 4地区を実施 ※ 坂東大堰、大正用水2期、赤城大沼用水3期、山子田 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 機能保全計画に基づく、基幹農業水利施設の保全対策 ----- 4地区を実施 ※ 坂東大堰、大正用水2期、赤城大沼用水3期、山子田 	B
これまでの取組内容	<p>(今年度の取組内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・赤城大沼用水3期地区及び山子田地区においては、次年度からの工事発注を見据えた実施設計を行った。 ・大正用水地区の水路改修 430m を進めたほか、坂東大堰地区では大堰本体の改修を終えることができた。 		
現状分析課題 今後の予定	<p>(現状分析・課題・今後の予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、早期に効果が発現できるよう計画的な農業水利施設の保全を図っていく。 また、計画期間内に保全対策に着手できなかった大正用水3期地区は令和2年度、坂東大堰2期地区は令和3年度の着手を目指して事業計画の策定を進めていく。 		

・施設の維持管理体制への支援

	計 画	実 績	評価
取組内容	▶ 機能保全計画に基づく、施設監視 ----- 10 土地改良区を指導・支援 ※ 大正用水、天狗岩堰、広瀬桃木両用水、八坂堰、佐波新田用水、赤城大沼用水、群馬用水、坂東大堰、中群馬、赤城西麓	▶ 機能保全計画に基づく、施設監視 ----- 10 土地改良区を指導・支援 ※ 大正用水、天狗岩堰、広瀬桃木両用水、八坂堰、佐波新田用水、赤城大沼用水、群馬用水、坂東大堰、中群馬、赤城西麓	A
これまでの取組内容	(今年度の取組内容) ・管内 10 土地改良区に対し、施設監視要領の周知や施設監視の支援を行った。このほか、今後の保全対策等について、7 土地改良区と意見交換を行った。		
現状分析 課 題 今後の予定	(現状分析・課題・今後の予定) ・中群馬土地改良区及び赤城大沼用水土地改良区の水利施設について、機能保全計画の一部が未策定となっており、令和 3 年度を目標に策定していく。		

数値目標

目標名	H26 (基準年)	H27	H28	H29	H30	H31(R 元) (目標年)
基幹農業水利施設の保全対策に着手した地区数 [地区]						
目 標	—	—	9	10	12	15
実 績	8	9	9	9	9	11
保全対策により農業用水の安定供給が維持された農地面積 [ha]						
目 標	—	—	3,567	4,341	5,373	5,953
実 績	2,272	2,564	3,438	4,239	4,765	5,202

※ 数値は、累計値。

◆ 農業用水を利活用した農業経営と施設管理のコスト低減

・畑地かんがい施設の整備

	計 画	実 績	評価
取組内容	▶ 赤城西麓地区での畑地かんがい施設の整備 ----- 2 地区を実施 ※ 上狩野、中原	▶ 赤城西麓地区での畑地かんがい施設の整備 ----- 2 地区を実施 ※ 上狩野、中原	A
これまでの取組内容	(今年度の取組内容) ・上狩野地区、笠張地区は、共用する導水管路 1.2km の整備を実施したほか、上狩野地区は、給水栓、給水スタンド、散水施設の設置を行った。 ・中原地区は、給水栓の設置に向け地元説明会を実施した。		
現状分析 課 題 今後の予定	(現状分析・課題・今後の予定) ・笠張地区は、減圧水槽及び区画整理工事の進捗に合わせ、管路の発注準備を進める。 ・中原地区は、給水栓の設置に向け、地元調整及び発注準備を進める。		

・再生可能エネルギーの導入推進

	計 画	実 績	評価
取組内容	▶ 小水力発電の推進 ----- 1地区を支援 ※ 小出	▶ 小水力発電の推進 ----- 1地区を支援 ※ 宮川	A
これまでの取組内容	(今年度の取組内容) ・小水力発電の導入可能性が見込まれる宮川地区については、現地における発電効率の確認など、実証試験まで実施したものの、水利権の協議が整わず、事業化には繋がらなかった。		
現状分析課題 今後の予定	(現状分析・課題・今後の予定) ・導入可能性の見込まれる地区について、引き続き水利権の調整など、事業化に向けた支援を行う。 ・小出地区の発電予定地は、地図混乱地域で境界確定が困難であることから、設置場所の再検討など要することとなった。		

数値目標

目標名	H26 (基準年)	H27	H28	H29	H30	H31(R元) (目標年)
畑地かんがい施設の整備面積 [ha] 【4年間】						
目 標	—	—	8	8	8	30
実 績	—	—	8	0	20	47
農業用水を活用した小水力発電施設の稼働数 [施設]						
目 標	—	—	—	1	→	1
実 績	—	—	—	1	→	1

※ 数値は、単年度取組数。最終年度のみ累計値。

◆ 相馬原地区の施設保全に向けた障害防止対策事業の推進

・相馬原地区の施設保全

	計 画	実 績	評価
取組内容	▶ かんがい施設の改修 ----- 2施設と1付帯施設を実施 ※ 榛名幹線水路、祭戸水路、道城西貯水池付帯水路（堂の入沢）	かんがい施設の改修 ----- 2施設と1付帯施設を実施 ※ 榛名幹線水路、祭戸水路、道城西貯水池付帯水路（堂の入沢）	B
これまでの取組内容	(今年度の取組内容) ・榛名幹線水路 0.7km、及び道城西貯水池付帯水路（堂の入沢） 0.4km の改修工事を実施した。また、祭戸水路の取水施設工事に着手した。		
現状分析課題 今後の予定	(現状分析・課題・今後の予定) ・5次事業計画の完了に向け、残事業を計画的に実施する。6次事業計画においては、関係市町村と計画策定に向けての協議と併せ、防衛省と調整を進める。		

・施設の維持管理体制支援

	計 画	実 績	評価
取組内容	▶ 貯水池等の適正な維持管理を指導 ----- 1地区を実施 ※ 相馬原	▶ 貯水池等の適正な維持管理を指導 ----- 1地区を実施 ※ 相馬原	A
これまでの取組内容	(今年度の取組内容) ・関係市町村と7月に貯水池点検を実施し、施設管理者による適正な管理が行えるよう助言・指導をした。		
現状分析課題 今後の予定	(現状分析・課題・今後の予定) ・施設管理者による維持管理が適正に行えるよう、今後も関係市町村を支援する。		

数値目標

目標名	H26 (基準年)	H27	H28	H29	H30	H31(R元) (目標年)
第5次計画における貯水池・附帯施設の改修済数 [施設]						
目 標	—	—	16	17	18	22
実 績	15	15	17	18	20	20
県営障害防止対策事業相馬原地区の維持管理指針の策定数 [指針]						
目 標	—	—	1	→	→	1
実 績	—	—	1	1	1	1

※ 数値は、累計値。

◆ 土地改良区の組織体制強化

	計 画	実 績	評価
取組内容	▶ 土地改良区体制強化基本計画の更新 ----- 2土地改良区の更新指導 ※ 中群馬、広瀬桃木両用水	▶ 土地改良区体制強化基本計画の更新 ----- 2土地改良区の更新指導 ※ 中群馬、広瀬桃木両用水	A
これまでの取組内容	(今年度の取組内容) ・土地改良区を個別訪問し、体制強化基本計画の更新を指導した。 また、広瀬桃木両用水土地改良区と八坂堰土地改良区の統合整備協議会の立ち上げを支援した。 ※ 天狗岩堰土地改良区及び中群馬土地改良区と合併の意向等について意見交換を行った。		
現状分析課題 今後の予定	(現状分析・課題・今後の予定) ・広瀬桃木両用水土地改良区と八坂堰土地改良区の合併認可申請を支援し、令和2年度の合併を目指す。 ・中群馬土地改良区と天狗岩土地改良区の合併に向けた調整など、各土地改良区の状況に応じた支援を行う。		

数値目標

目標名	H26 (基準年)	H27	H28	H29	H30	H31(R元) (目標年)
土地改良区体制強化基本計画を策定した土地改良区数 [土地改良区]						
目 標	—	—	6	4	—	10
実 績	—	—	6	4	—	10

※ 土地改良区体制強化基本計画は H29 年度で全て策定済。

「土」の保全整備

「土」の保全整備

- ▶ 畑地帯の基盤整備を推進し、担い手の育成に資する農地集積を支援するとともに、耕作放棄地の解消・発生防止と農業生産性の向上等を図る。
- ▶ 水田の畦抜きによる大区画化が可能な地域では、簡易整備を支援し、担い手への農地集積を進めるとともに、農業生産性の向上を図る。
- ▶ 基幹的な農道について、施設の長寿命化によるライフサイクルコストの低減を図る保全対策を行い、農業・農村の振興に寄与する。

【当該年度評価の総括】

1 生産基盤の推進

- ▶ 赤城西麓土地改良事業の笠張地区（受益面積 A=25ha）は、本年度に採択を受け、事業に着手した。
- ▶ 集落営農法人等を対象とした研修会などで、農地集積のための簡易整備（畦畔除去）等の事業制度を周知した。

2 農道の保全

- ▶ 赤城南第2地区では、1橋の耐震化工事と2橋の補修工事を実施した。

◆ 条件整備による経営の安定とコスト低減

・畑地帯の基盤整備

	計 画	実 績	評 価
取組内容	▶ 農業生産性の向上と担い手への農地集積を促進するための基盤整備 ----- 4地区を実施 ※ 上細井中西部、上狩野、中原、笠張 ----- 1地区を支援 ※ 境下武士	▶ 農業生産性の向上と担い手への農地集積を促進するための基盤整備 ----- 4地区を実施 ※ 上細井中西部、上狩野、中原、笠張 ----- 1地区を支援 ※ 境下武士	B
これまでの取組内容	（今年度の取組内容） ・上細井中西部地区では、区画整理工 14.7ha を実施した。 ・中原地区では、道路、排水路などの付帯工事を実施した。 ・上狩野地区では、道路、排水路などの付帯工事を実施した。 ・笠張地区では、換地計画原案の策定に向けた地区境界の確定及び従前地の評価と、実施設計に着手した。 ・境下武士地区では、換地処分を行う土地改良区を支援した。		
現状分析 課 題 今後の予定	（現状分析・課題・今後の予定） ・上細井中西部地区、中原地区及び上狩野地区では、引き続き、早期の効果発現のため計画的な工事の実施を行う。 ・笠張地区は、換地計画原案の策定及び実施設計を行い、計画的な工事の実施を進める。		

・水田地帯の簡易整備

	計 画	実 績	評価
取組内容	▶ 農地集積のための簡易な整備 ----- 1地区を支援 ※ 前橋市（畦畔除去）	▶ 農地集積のための簡易な整備 ----- 1地区を支援 ※ 前橋市（畦畔除去）	C
これまでの取組内容	(今年度の取組内容) ・前橋市集落営農法人運営支援研修会や前橋市集落営農塾において、農地集積のための簡易整備（畦畔除去）等の事業制度を周知したものの、地域からの要望がなく具体的な支援ができなかった。		
現状分析 課 題 今後の予定	(現状分析・課題・今後の予定) ・地域の実情に合わせて、農地集積のための簡易整備（畦畔除去）を支援する。		

・基幹農道の保全対策

	計 画	実 績	評価
取組内容	▶ 保全対策計画に基づく、保全対策 ----- 1地区を実施 ※ 赤城南第2	▶ 保全対策計画に基づく、保全対策 ----- 1地区を実施 ※ 赤城南第2	C
これまでの取組内容	(今年度の取組内容) ・1橋の耐震化工事と2橋の補修工事を実施した。 ・2橋の橋面防水及び舗装工事0.1kmを実施した。		
現状分析 課 題 今後の予定	(現状分析・課題・今後の予定) ・橋梁の耐震化と補修、及び擁壁の補強工事を優先したため、事業量の進捗が遅延した。 ・工事の計画的な発注に努め、効果の早期発現を図る。		

数値目標

目標名	H26 (基準年)	H27	H28	H29	H30	H31(R元) (目標年)
区画整理による整備面積（水田・畑）[ha]【4年間】						
目 標	—	—	32.2	58.6	84.6	120.0
実 績	—	—	25.4	33.9	82.0	98.1
簡易な整備手法により区画拡大をした面積 [ha]【4年間】						
目 標	—	—	7.0	10.0	11.0	12.0
実 績	—	—	0.0	5.3	6.0	6.0
基幹的な農道の保全対策の実施延長 [km]						
目 標	—	—	8.8	10.6	11.5	11.5
実 績	7.4	8.2	8.2	9.0	9.0	9.1

※ 数値は、累計値。

◆ 農地集積への道筋を付ける農地整備

	計 画	実 績	評価
取組内容	▶ 農地中間管理事業を活用した農地集積の促進 ----- 4地区で推進 ※ 上狩野、中原、笠張、上細井中西部	▶ 農地中間管理事業を活用した農地集積の促進 ----- 4地区で推進 ※ 上狩野、中原、笠張、上細井中西部	A
これまでの取組内容	(今年度の取組内容) ・上細井中西部地区では、農地中間管理事業を活用した農地集積を推進した。 ・上狩野地区及び中原地区では、基盤強化促進法等による農地集積から農地中間管理事業による転貸を促すための要請を行った。		
現状分析 課 題 今後の予定	(現状分析・課題・今後の予定) ・引き続き、農地中間管理事業の活用を促進するための取り組みを行う。		

数値目標

目標名	H26 (基準年)	H27	H28	H29	H30	H31(R元) (目標年)
農地中間管理事業との連携を推進した区画整理の地区数 [地区]						
目 標	—	—	5	4	4	全計画・実施地区
実 績	—	—	5	3	3	6

※ 数値は、単年度取組数。

◆ 地域ぐるみで野生鳥獣被害の一掃を目指して

	計 画	実 績	評価
取組内容	▶ 基盤整備と侵入防止施設の連携 ----- 1市で実施 ※ 渋川市(中原) ▶ 侵入防止柵等の設置 ----- 1市を支援 ※ 前橋市	▶ 基盤整備と侵入防止施設の連携 ----- 1市で実施 ※ 渋川市(中原) ▶ 侵入防止柵等の設置 ----- 1市を支援 ※ 前橋市	A
これまでの取組内容	(今年度の取組内容) ・前橋市の1地区において侵入防止柵の設置を支援したほか、渋川市の中原地区では、侵入防止グレーチング5箇所を設置を行った。		
現状分析 課 題 今後の予定	(現状分析・課題・今後の予定) ・引き続き、地域の要望に対して支援できる体制をとるとともに、設置した施設が適正に維持管理できるよう、指導・助言を行う。		

数値目標

目標名	H26 (基準年)	H27	H28	H29	H30	H31(R元) (目標年)
野生鳥獣被害防止対策を支援した市町村数 [市町村]						
目 標	—	—	2	2	2	2
実 績	(2)	—	2	3	2	3

※ 基準年の()内は、過去4年間(H25～27)の実績であり、4年間で同数の実施・支援を目指した。

数値は単年度取組数。なお、最終年度は市町村(年度の重複を除く)の累計値。

「里」の保全整備

- ▶ 地域の安全な生活を確保するため、ため池及び農業用貯水池の施設規模に応じた耐震性調査による安全性確認を推進・支援するとともに、必要に応じて改修等を行い、地域の防災減災に取り組む。
- ▶ 農業集落排水施設については、ストックマネジメント手法による保全対策（補修、補強等）により、維持管理経費の低減、生活環境の維持等を図る。

【当該年度評価の総括】

1 安全な地域づくり

- ▶ ため池の保全整備及び石綿飛散防止のための石綿管の布設替えについては、概ね目標を達成することができた。
- ▶ 防災重点ため池については、策定済みのハザードマップの公表や新たな耐震調査を行い、概ね目標を達成することができた。

2 農村生活環境の整備

- ▶ 農業集落排水事業については、前橋市込皆戸地区ほか4地区で施設の機能強化等を実施した。

◆ 災害発生前の被害想定による安全確保

・ため池の保全

	計 画	実 績	評価
取組内容	▶ 早期に改修が必要なため池の保全整備 ----- 1地区を実施 ※ 中野貯水池	▶ 早期に改修が必要なため池の保全整備 ----- 1地区を実施 ※ 中野貯水池	A
これまでの取組内容	(今年度の取組内容) ・中野貯水池では、堤体の漏水対策工事を実施した。		
現状分析 課 題 今後の予定	(現状分析・課題・今後の予定) ・引き続き、防災重点ため池等で対策が必要なため池については、緊急度などを考慮し、優先順に対策を進めていく。		

・農業水利施設の耐震性調査

	計 画	実 績	評価
取組内容	▶ ため池の豪雨に対する照査 ----- 1地区（10施設）を支援 ※ 前橋第6（10施設）	▶ ため池の耐震性照査 ----- 1地区（2施設）を支援 2地区を実施 ※ 前橋第6（五料沼、原貯水池） 桃泉貯水池、鈴峰貯水池	B
これまでの取組内容	(今年度の取組内容) ・ため池の豪雨に対する照査について調整や協議を行った。そのほか、桃泉貯水池は、レベル2地震動に対する照査を開始し、鈴峰貯水池は、レベル1地震動に対する照査を実施した。		
現状分析 課 題 今後の予定	(現状分析・課題・今後の予定) ・防災重点ため池の見直しにより、新たに指定されたため池など、引き続き、耐震性照査や豪雨に対する照査を進めていく。また、桃泉貯水池は、引き続きレベル2地震動に対する照査を進める。		

数値目標

目標名	H26 (基準年)	H27	H28	H29	H30	H31(R 元) (目標年)
耐震性能を確認したため池数 [地区]						
目 標	—	—	29	38	46	46
実 績	22	22	29	40	41	44
ハザードマップの作成を支援したため池数 [ヶ所]						
目 標	—	—	18	30	46	46
実 績	15	15	18	31	44	55
老朽ため池の改修済地区数 [地区]						
目 標	—	—	1	1	1	2
実 績	—	—	0	1	1	2
耐震性能を確認した農業水利施設 (ため池除く) 数 [施設]						
目 標	—	—	12	52	55	55
実 績	—	—	55	55	55	55

※ 数値は、累計値。

◆ 石綿の飛散防止と計画的な整備

	計 画	実 績	評価
取組内容	▶ 農業用管水路の改修 ----- 2地区を実施 ※ 前橋北部、榛名東部	▶ 農業用管水路の改修 ----- 2地区を実施 ※ 前橋北部、榛名東部	B
これまでの取組内容	(今年度の取組内容) ・ 農業用管水路の改修に併せて石綿管 490m の撤去を行った。		
現状分析 課 題 今後の予定	(現状分析・課題・今後の予定) ・ 前橋北部地区及び榛名東部地区においては、引き続き対策工事を実施するほか、新たに富士見地区の事業化を進める。		

数値目標

目標名	H26 (基準年)	H27	H28	H29	H30	H31(R 元) (目標年)
石綿セメント管の撤去延長 [km]						
目 標	—	—	3.5	4.7	5.6	5.9
実 績	3.0	3.3	3.5	4.0	5.1	5.6

※ 数値は、累計値。

◆ 農村生活環境の更なる向上とコスト低減

	計 画	実 績	評価
取組内容	▶ 農業集落排水施設の機能強化 ----- 5地区を支援 ※ 込皆戸、二之宮、前橋東部、上増田、長岡	▶ 農業集落排水施設の機能強化 ----- 5地区を支援 ※ 込皆戸、二之宮、前橋東部、上増田、長岡	A
これまでの取組内容	(今年度の取組内容) ・5地区の農業集落排水施設で実施する機能強化を支援した。		
現状分析 課 題 今後の予定	(現状分析・課題・今後の予定) ・引き続き、込皆戸地区、二之宮地区、前橋東部地区及び長岡地区の機能強化、樋越地区及び米野地区の調査計画を支援する。		

数値目標

目標名	H26 (基準年)	H27	H28	H29	H30	H31(R 元) (目標年)
農業集落排水施設の最適整備構想策定市町村数 [市町村]						
目 標	—	—	3	5	5	5
実 績	1	2	4	5	5	5

※ 数値は、累計値。

「協働」

- ▶ 農業者及び地域住民が協働で行う地域づくりを通じて、農業農村の有する多面的機能の維持・発揮を図る。
- ▶ 末端農業水利施設の維持保全について、地域が共同活動により取り組む体制整備を支援する。
- ▶ 農業生産の持続を目的とした小規模基盤整備の推進及び水田管理への地域住民の参画を推進する。

【当該年度評価の総括】

1 協働活動への支援

- ▶ 多面的機能支払について、事業制度の周知や説明会を実施した結果、新たに3組織で取り組みが始まり、農地維持支払では63組織4,200haで取り組むことができた。

◆ 地域の活力による農地等の資源保全

・地域資源の保全活動への支援

	計 画	実 績	評価
取組内容	▶ 地域資源の維持・保全が図られた農地 ----- 4,520 ha を支援	▶ 地域資源の維持・保全が図られた農地 ----- 4,200 ha を支援	C
これまでの取組内容	(今年度の取組内容) ・関係市町村と連携して、地域が取り組む協働活動を支援した。 ・赤城西麓の中原地区では、侵入防止柵等の維持管理に向けて、多面的機能支払交付金の活用について説明を行った。		
現状分析 課 題 今後の予定	(現状分析・課題・今後の予定) ・集落数は目標を上回っているが、高齢化や中核となる人材の不足により維持・保全の図られた農地面積が目標に達しなかった。 ・引き続き関係市町村と連携して制度周知を図るとともに、既存組織による広域化や群馬用土地改良区の管理区単位での新たな地区の立ち上げなどの支援を行う。		

・地域構想づくりの支援

	計 画	実 績	評価
取組内容	▶ 地域構想づくりの支援 ----- 1 地区を支援	▶ 地域構想づくりの支援 ----- 1 地区を支援	A
これまでの取組内容	(今年度の取組内容) ・多面的機能支払交付金の活動に取り組む伊勢崎市の田中島地区において、多面的機能支払交付金のフォローアップに併せて、地域の課題や将来像の検討について支援した。		
現状分析 課 題 今後の予定	(現状分析・課題・今後の予定) ・新たに取り組みを始めた組織などを対象に、引き続き、地域資源構想の策定などについて支援をする。		

数値目標

目標名	H26 (基準年)	H27	H28	H29	H30	H31(R 元) (目標年)
多面的機能の維持・発揮が図られた農業集落数 [集落]						
目 標	—	—	87	102(96)	123 (105)	150(115)
実 績	72	96	102	123	150	153
農地・農業用施設の維持・保全が図られた農地面積 [ha]						
目 標	—	—	4,842	5,020	5,430	6,022
実 績	4,296	4,323	4,422	4,198	4,467	4,200
地域構想づくり支援実施モデル地区数 [地区]						
目 標	—	—	—	—	→	2 (1)
実 績	—	—	—	—	1	2

※ 数値は累計値。

※ 実績値が H31(R 元)目標値を超えた場合、次年度の目標値に前年度の実績値を標記し、当初目標値を括弧で標記。